



Sato Churyo: Rereading Three Masterpieces

《帽子・夏》(部分) 1972年 ブロンズ

生誕110年

傑作誕生・佐藤忠良

2022年7月16日|土|～9月19日|月・祝|

*会期中、一部作品の展示替を行います。前期:7月16日(土)～8月21日(日)、後期:8月23日(火)～9月19日(月・祝)
開館時間:午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) 休館日:月曜日(ただし7月18日、8月15日、9月19日は開館)、7月19日
観覧料:一般830(660)円、大・高校生410(320)円 *()内の観覧料は、20名以上の団体割引料金
*中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料 *群馬県在住の65歳以上の方は平日のみ2割引
主催:群馬県立館林美術館 企画協力:SDアート

GMAT

Gunma Museum of Art,
Tatebayashi

群馬県立館林美術館

〒374-0076 群馬県館林市日向町2003
tel. 0276-72-8188(代表) fax. 0276-72-8338
<http://www.gmat.pref.gunma.jp/>



左:《群馬の人》1952年 ブロンズ/右:『おおきなかぶ』絵本原画 表紙・裏表紙 [1962年5月刊] 紙、水彩・インク・コンテ・鉛筆(前期後期で場面替/本図は前期展示) 掲載作品はいずれも宮城県美術館蔵 photo©佐々木香輔



《魚商の女》1960年 ブロンズ 宮城県美術館蔵 photo©上野利宏



『ゆきまつり』挿絵原画
『キンダーブック：観察絵本』[1955年1月刊]
カンヴァスボード、油彩 宮城県美術館蔵



『ゆきむすめ』絵本原画 2-3頁 [1963年2月刊] 紙、水彩・コンテ・鉛筆 宮城県美術館蔵
(前期後期で場面替/本図は前期展示)



《常磐炭砦・煙突》1956年
紙、コンテ・ボールペン・水彩 いわき市立美術館蔵
(前期展示)



エドガー・ドガ《浴槽の脇で身体を拭う女》
制作年不詳 紙、コンテ 宮城県美術館蔵
(後期展示)



オーギュスト・ロダン《台の上に屈む裸婦》
制作年不詳 紙、鉛筆・水彩 宮城県美術館蔵
(後期展示)



《ボタン(大)》1967-69年 ブロンズ 宮城県美術館蔵 photo©佐々木香輔

Sato Churyo: Rereading Three Masterpieces

宮城県に生まれた佐藤忠良(1912~2011)は、青年期までを北海道で過ごし、画家を志して上京します。その後ロダンをはじめとするフランス近代彫刻に魅せられ、東京美術学校(現・東京藝術大学)で彫刻を学び、卒業して間もなく新制作派協会(現・新制作協会)彫刻部の創立に参加しました。戦時中、召集されて旧満洲に渡り、3年間のシベリア抑留も経験します。復員後は一貫して具象彫刻の道を歩み、戦後の日本彫刻史に大きな足跡を残しました。

本展覧会は、佐藤忠良の三つの代表作に焦点を当てます。写実を深く追求し、日本人の手で初めて日本人の顔を表現したと高く評価された《群馬の人》、イタリアの近代彫刻に刺激を受け、当時の若い女性が身につけた衣服や帽子を活力あるポーズに取り込んだ《帽子・夏》、的確な描写力と場面展開によって1962年の刊行以来読み継がれているロングセラー絵本『おおきなかぶ』。これら三点の傑作の制作背景を、佐藤自身が収集したロダン、ムーア、マリニなどの作品と、彼らについて語った言葉を手がかりに解き明かします。

【会期中のイベント】

◆記念講演会「佐藤忠良が遺したもの」

講師：三上満良氏(本展監修者・元宮城県美術館副館長)
9/3(土) 14:00~15:30 [要申込・先着50名・講演]

◆学芸員による作品解説会

8/3(水)、8/28(日) 各日14:00~(約40分) [申込不要・先着20名・研修室]

◆たてび☆キッズウォーク

7/23(土)、8/27(土) 各日10:00~11:30、13:00~14:30

[申込不要・小中学生対象・展示室] *自由な時間に参加できます *参加記念品付き

◆ワークショップ「ミニチュア彫刻を作ろう」

8/21(日) 11:00~15:30 [要申込・抽選30組・別館ワークショップ室]
協力：群馬県立女子大学 奥西ゼミ

◆みんなのアトリエ「多色折り木版画の折り体験」 参加費100円

講師：内山良子氏(木版画家)

7/21、28、8/11、18(いずれも木曜日) 各日13:30~16:00 [要申込・先着各日40名・別館ワークショップ室]

◆ポンポン・ツアー

8/7(日) 14:00~14:30 [申込不要・先着20名・研修室] *参加記念品付き

*イベントは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、状況に応じて変更になることがあります。

*各事業の詳細・申込方法は、HPをご覧ください。直接お問い合わせください。→<http://www.gmat.pref.gunma.jp/>



交通案内

- 車 東北自動車道 館林I.C.から約9km、北関東自動車道 太田桐生I.C.から約15km
- 電車 東武伊勢崎線 多々良駅から約1.2km(徒歩20分)、東武伊勢崎線 館林駅から約4km(東口より タクシー10分)
- バス 館林駅前西口から多々良循環バス、往路30分、復路15分、バス停「県立館林美術館前」からすぐ、またはバス停「多々良公民館南」から徒歩15分。

東京都内からの御案内

- 浅草駅(東京メトロ銀座線、都営地下鉄浅草線)または北千住駅(JR常磐線、東京メトロ日比谷線・千代田線・半蔵門線、つくばエクスプレス)から東武スカイツリーライン・伊勢崎線をご利用ください。特急「リょうもう」の場合、浅草駅(北千住経由)~館林駅の所要時間は約60分。
- JR宇都宮線ご利用の場合は、久喜駅で東武伊勢崎線に乗り換え。久喜~館林間の所要時間は約30分。

多々良巡回バス時刻表

館林駅西口	8:50	9:40	10:43	11:38	13:21	14:16	15:02	16:00
多々良公民館南	9:10	10:09	11:03	12:07	13:41	14:34	15:31	16:20
県立館林美術館前	9:14	↓	11:07	↓	13:45	↓	↓	16:24
館林駅西口	9:30	10:23	11:23	12:21	14:01	14:47	15:45	16:40

【インフォメーション】 *詳細は各館HPをご覧ください。

- 群馬県立近代美術館 (tel. 027-346-5560)
「うるわしき薔薇—ルドワーテ「バラ図譜」を中心に」
7月9日(土)~8月28日(日)
- 足利市立美術館 (tel. 0284-43-3131)
「あしかがの歴史と文化 再発見!」
7月30日(土)~10月10日(月・祝)
- 館林市第一資料館 (tel. 0276-74-4111)
「収蔵資料展」

群馬県立館林美術館

〒374-0076 群馬県館林市日向町2003
tel. 0276-72-8188(代表) fax. 0276-72-8338
<http://www.gmat.pref.gunma.jp/>

